



第8回

# 芝桜の里 読書感想文コンクール



芝桜の里読書感想文コンクールの表彰式・発表会が10月28日、村文化祭の一環として中央公民館で行われました。表彰式では、吾妻幹廣教育長から賞状と楯が入賞者一人ひとりに手渡されました。

その後、小学校3部門、中学校部門の最優秀賞に輝いた4人が、講堂に集まつた多くの子どもたちや保護者、地域住民が見守る中、感想文の発表を行いました。

本村では、読書活動推進に取り組み8年目を迎えました。子どもたちの読書に対する興味・関心は年々深まっており、今年は中学生の多くが「芝桜の里平田村子どもたちにおける本五十選」の読書に挑戦しました。感想文の内容や конкур�다.での発表態度も毎年向上しており、読書活動が子どもたちの感性や豊かな心の育みにつながっています。

クールの表彰式・発表会が10月28日、村文化祭の一環として中央公民館で行われました。表彰式では、吾妻幹廣教育長から賞状と楯が入賞者一人ひとりに手渡されました。

その後、小学校3部門、中学校部門の最優秀賞に輝いた4人が、講堂に集まつた多くの子どもたちや保護者、地域住民が見守る中、感想文の発表を行いました。

本村では、読書活動推進に取り組み8年目を迎えた。子どもたちの読書に対する興味・関心は年々深まっており、今年は中学生の多くが「芝桜の里平田村子どもたちにおける本五十選」の読書に挑戦しました。感想文の内容やコンクールでの発表態度も毎年向上しており、読書活動が子どもたちの感性や豊かな心の育みにつながっています。

【小学校低学年の部】

読んだ本…さつちゃんのまほうのて  
著者…たばた せいいち

小平小学校2年 渡邊 日莉さん



## わたしもがんばるよ

「手のないおかあさんなんてへんだもん。」  
と言わせて、わたしはとてもかくなしかつたよ。みんなにだめだと言っていたから。だから、さつちゃんがまりちゃんととびかかった気もちはとてもよくわかつたよ。でも、わたしだつたらないでいるだけかもしれない。きっと、なにも言えなかつたと思う。

生まれつき右の手のゆびがなさいさつちゃん。おかあさんが、「さちこの手はね、小学生になつても今のままで、ずっと今までのままで。でも、さちこの大じな手、おかあさんの大好きな手なんだから。」と言ったとき、おかあさんも

さつちゃんもなつていて、わたしもなきそくなつたよ。  
わたしが、もし手のゆびがなかつたらどうしていたかな、毎日ないで学校に行つていたかな。わたしは、生まれつき顔に小さなあざがあるんだ。とてもいやで、見えないとこらだつたらよかつたのにと、なんども思つたよ。そして、さつちゃんのように、「なんでわたしの顔にはあざがあるの。」とおかあさんに聞いたこともある。わたしのおかあさんもさつちゃんのおかあさんと同じように、わたしの顔を大きと言つてくれたんだ。わたしは、とてもうれしかつたよ。今は、たくさんの方たちがてきて、学校に行くのがたのしくて、あざのことを気にしなくなつたんだ。

「さちこの手はまるでまほうの手だね。」  
と言つてくれたおとうさん。さつちゃんのことが、大きだつてつたわつてきたよ。さつちゃんの家ぞくもすてきだね。わたしも、さつちゃんにまけのままよ。でも、さちこの大じないぐらいつよくなつて、すてきなおかあさんになりたいな。どつちがすてきなおかあさんになるかきようそだね。

さつちゃんもなつていて、わたしもなきそくなつたよ。

わたしが、もし手のゆびがなかつたらどうしていたかな、毎日ないで学校に行つていたかな。わたしは、生まれつき顔に小さなあざがあるんだ。とてもいやで、見えないとこらだつたらよかつたのにと、なんども思つたよ。そして、さつちゃん